

平成29年度

神戸市看護大学大学院

看護学研究科

<博士前期課程>

科目等履修生

募 集 要 項



神戸市看護大学大学院

Graduate School of Nursing, Kobe City College of Nursing

# 平成29年度 神戸市看護大学大学院 科目等履修生募集要項

## 1 募 集 人 員

各科目 若干名

## 2 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学（学校教育法第83条に定める大学をいう。以下同じ。）を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は平成29年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成29年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は平成29年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上あることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成29年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本大学院が認めた者
- (9) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

### (9)の認定基準（出願の前に本学総務課までご確認ください）

次の①～③のすべてに該当し、さらに④～⑧のうち少なくとも1つの条件を満たしていること。

- ① 短期大学を卒業していること、又は専修学校・各種学校等を修了していること。
- ② 看護師、保健師、又は助産師の資格を有すること。
- ③ 上記②の資格で、5年以上（実質）の実務経験があること。
- ④ 研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県など公共又はそれに匹敵する機関の6ヶ月以上の看護教員養成課程）又は継続教育（看護管理者養成課程セカンドレベル以上）などを修了していること。
- ⑤ 認定看護師の資格を有すること。
- ⑥ 大学院の研究生として1年以上在籍し、成果を修めていること。
- ⑦ 業績（学術・専門雑誌での論文掲載等）を有すること。
- ⑧ 6ヶ月以上の国際看護活動を行った経験があること又は実用英語検定準1級（TOEFL 520点、TOEIC640点、その他同等）以上に相当する英語力を有すること。

### 3 入学時期及び履修期間

入学時期は平成29年4月、履修期間は1年以内とします。

### 4 履修科目

#### 1 開講する科目

科目等履修生に開講する科目は「9. 開講科目一覧」のとおりです。

\* 本学では、社会人が働きながら就学できるよう夜間開講されている科目もあります。

#### 2 履修できる科目数

毎学期（前期、後期）とも、4授業科目を限度とします。

### 5 出願手続

#### 1 出願期間

平成29年1月16日（月）～1月20日（金）

\* 出願期限は、出願期間の最終日必着とします。出願期間後に到着した場合は受付しませんので注意してください。

#### 2 出願方法

(1) 出願者は、あらかじめ受講希望科目の担当教員に相談してください。電話・Eメールでの相談も可能です。（教員連絡先は4ページを参照してください。）

(2) 出願者は、出願書類を一括して封筒（角型2号）に入れ、持参又は「書留」で郵送してください。

ただし、持参による受付は、上記の期間中の9時～12時、13時～17時までです。

#### 3 出願先

〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地

神戸市看護大学 総務課

☎ 078-794-8080

#### 4 出願書類

必要な書類	作成方法
志願票 (A～D票)	本学所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影したもの（上半身、無帽、正面、無背景、縦4cm×横3cm）で、写真裏面に氏名、生年月日を記入の上、はがれないようにのり付けしてください。
履歴書	本学所定の用紙（志願票A票裏面）を用い、必要事項を記入してください。
履修希望理由書	本学所定の用紙を用い、必要事項を記入してください。
卒業(見込み)証明書及び成績証明書	最終学歴の <b>卒業(見込)証明書</b> 及び <b>成績証明書</b> を提出してください。
選考料	<b>9,800円</b> ※郵便局で購入した <b>普通為替証書</b> を同封してください。 (受取人指定欄は一切記入しないでください。)

〈注意事項〉

- (1) 出願書類がすべてそろっていない場合は受理できませんので、出願の際には十分注意してください。
- (2) 出願書類受理後は、出願書類及び選考料は、理由のいかんを問わず返却しません。

## 6 選 考 方 法

履修希望理由書を審査して決定します。

## 7 選考結果の発表

### 1 発表日

平成29年2月17日（金）

### 2 発表方法

選考の結果は、全員に郵送でお知らせします。電話等による問い合わせには一切応じません。

## 8 入 学 手 続

### 1 手続期間

平成29年2月27日（月）～3月3日（金）

### 2 入学手続の方法

「入学手続きに必要な書類」を直接持参、もしくは郵送してください。

「入学手続きに必要な書類」は選考結果と合わせて郵送します。

### 3 入学金等

種 別	金 額		備 考
入学金	神戸市住民 及びその子弟	29,700 円	「神戸市住民」—— 入学の日の1年前から引き続き 本市に住所を有する者
	そ の 他 の 者	42,300 円	「その子弟」—— 神戸市住民の配偶者又はその2 親等内の親族
授業料	1 科目につき	29,700 円	納付期限 前期：5 月末日 後期：10月末日

授業料の改定が行われた場合は、新しい授業料が適用されます。

## 9 平成29年度 開講科目一覧表

開講期	科 目 名	単位数 (時間数)	担当教員名	教員直通電話	E-mail アドレス
前 期	現 象 学 研 究	2(30)	松葉 祥一	078-794-8041	matsuba @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	フィジカルアセスメント	2(30)	谷 知子	078-794-8040	tomokot @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	看 護 倫 理 学	2(30)	石原 逸子	078-794-8034	kaeru56i @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	理 論 看 護 学	2(30)	石原 逸子、他	078-794-8034	kaeru56i @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	看 護 管 理 学	2(30)	林 千冬	078-794-8051	chifuyu @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	看護キャリア開発学特講	2(30)	グレッグ 美鈴	078-794-8045	m-gregg @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	公衆衛生看護援助論	2(30)	都筑 千景	078-794-8054	tsuzuki @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	老 年 看 護 学 特 講	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	精 神 看 護 援 助 論 III	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	精 神 看 護 援 助 論 V	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	老 年 健 康 生 活 評 価	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	老 年 症 候 群 と 治 療 論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	老 年 看 護 援 助 論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	老 年 保 健 医 療 福 祉 サポ-ートシステム論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	認知症高齢者看護援助論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	小 児 発 達 看 護 論	2(30)	二宮 啓子	078-794-8076	ninomiya @ tr.kobe-ccn.ac.jp
後 期	フ ィ- ル ド ワ- ク 論	2(30)	樫田 美雄	078-794-8074	kashida @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	看 護 政 策 研 究	2(30)	林 千冬、他	078-794-8051	chifuyu @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	看 護 教 育 学	2(30)	グレッグ 美鈴、他	078-794-8045	m-gregg @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	周 産 期 母 子 援 助 論	2(30)	高田 昌代、他	078-794-8077	mtakada @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	ジ ェ ン ダ- と 健 康	2(30)	高田 昌代、他	078-794-8077	mtakada @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	エ ン ド・オ ブ・ラ イ フ ケ ア 論	2(30)	坪井 桂子、他	078-794-2188	ktsuboi @ tr.kobe-ccn.ac.jp
	小 児 家 族 援 助 論 I	2(30)	二宮 啓子	078-794-8076	ninomiya @ tr.kobe-ccn.ac.jp
通 年	慢 性 病 看 護 学 特 講	2(30)	池田 清子	078-794-8094	ikeda @ tr.kobe-ccn.ac.jp

- (注意) 1. 出願前に受講希望科目の担当教員に相談してください。  
2. 開講期及び担当教員は変更されることがあります。  
3. 科目により、人数制限をする場合があります。  
4. 時間割によっては、希望する科目を履修できない場合があります。  
5. 大学院生の履修がない場合は非開講となります。

＜参考＞

講 義 概 要

【前期開講科目】

授業科目名	担当教員	講 義 等 の 内 容
現象学研究	松葉 祥一	メルロ＝ポンティを中心に同時代の実存主義的思想家の所説を検討し、現象学を他の諸学に適用可能な方法として定義することから始め、人間存在の根本に関わる精神医学や看護学、社会学などへの適用を考察し、方法としての現象学の有効性を検証する。
フィジカルアセスメント	谷 知子	様々な病態を呈する症例の全身状態を把握することおよび臨床看護診断を行うための必要な知識と技術を指導する。基本的なフィジカルアセスメントの方法および各臓器別のフィジカルアセスメントを教授し、症例を用いた看護判断のシミュレーションを実際に行い病態把握に必要な知識や技術の習得を目的とする。
看護倫理学	石原 逸子	看護の実践現場における倫理的諸問題を解決するのに役立つ指針や仕組み作りの基礎となる知識を学び、臨床の現場で遭遇する倫理的ジレンマについて、その問題点を分析し、関係者間の関係や各々の立場を考慮して、解決策を検討していく方法を追及する。さらに、看護や医療現場における倫理的ジレンマや研究、教育に関する倫理的課題を分析し、倫理的課題への対応や倫理的コンサルテーションについて、看護の視点から考察する。
理論看護学	石原 逸子 都筑 千景 高田 昌代 江川 幸二 グレッグ 美鈴 池田 清子	看護学の諸問題を理論構造と特徴の観点から歴史的に概観し、実践の科学としての看護学の特徴を考察する。さらに、看護（関連）論文を通読し、理論の実践への適用すなわち科学的根拠に基づく看護実践、及び、実践知に基づく知識の体系化と理論の構築の一連の過程を検討する。
看護管理学	林 千冬	サービスマネジメントにかかわる基本的な概念や理論を取り上げ、これらを医療・看護の現場で遭遇するさまざまな事例を読み解く作業に用いることを通じて理解を深めるとともに、看護管理上の問題解明におけるこれらの有効性と限界についても併せて考察する。
看護キャリア開発学特講	グレッグ 美鈴	国内外のキャリア開発に関する文献検討を基に、自らの経験を事例として、看護専門職のキャリア開発のあり方を追求する。
公衆衛生看護援助論	都筑 千景	公衆衛生に携わる保健師が行う援助活動において、実践の場で必要となる援助技術、活動方法などについて学びを深めるとともに、ディスカッションを通じて保健師の役割・機能を幅広く考察する。
老年看護学特講	坪井 桂子 *花房 由美子	老年期の発達と老年看護に関する諸理論を学び、人が老いることと援助が必要となった状況の理解を深め、高度な看護実践を行うために基盤となる専門知識を修得する。また、老年看護の実践における倫理的課題とその解決方法、専門看護師の役割・機能を理解する。
老年健康生活評価	坪井 桂子 谷 知子 清水 昌美	高齢者が健康な生活を送ることを支えるために必要な専門的な知識・技術を修得する。高齢者の加齢過程で生じる心身の健康課題と健康生活への影響、それらに対する適応と対処について、対象者の生活を支える視点に基づいた包括的なアセスメントの方法を学ぶ。
老年症候群と治療論	*石川 雄一 *前田 潔 坪井 桂子 清水 昌美	高齢者が罹患しやすい疾患や老年症候群に関する検査、治療（薬物療法）について理解し、ハイリスク状態にある高齢者の治療の適否の判断や、対象者の状態に応じCureとCareを統合した高度なアセスメントに基づく実践ができるように基盤となる知識を修得する。
老年看護援助論	坪井 桂子 鈴木 志津枝 清水 昌美 ほか	療養が必要となった高齢者と家族がその人らしく生活を送るために必要とされる看護援助の方法について、高度な専門知識を修得する。
老年保健医療福祉サポートシステム論	樫田 美雄 都筑 千景 坪井 桂子 清水 昌美 *前田 潔 *鶴屋 邦江	国内外の知見に基づき、高齢者の保健・医療・福祉の制度・政策に関する現状と課題について明らかにする。高齢者と家族がQOLを維持しながら地域で生活を送るために、利用者の視点からフォーマル、インフォーマルなサポートシステムの現状と課題について検討し、改善・改革に向けて具体的な提言ができる基盤となる能力を修得する。
認知症高齢者看護援助論	坪井 桂子 清水 昌美 *田中 智子	認知症の症状、原因疾患、ステージに応じた認知症高齢者の援助方法、認知症の行動心理学的症状（BPSD）に対する援助方法、権利擁護と意思決定支援、個人および集団的アプローチの実践を学び、生活を支える上で基盤となる高度な専門知識を修得する。
小児発達看護論	二宮 啓子 岡永 真由美	成長発達の諸理論を用いながら、小児の成長・発達を身体的・心理的・社会的側面から論じ、小児看護の特性を踏まえた看護援助について学ぶ。また、主な発達理論の概念と看護への適用を考察する。小児看護の特性を踏まえ、発達理論およびセルフケア看護理論を統合し、各学生の対象に適用できる看護モデルを構築する。

\*は非常勤講師

【通年開講科目】

授業科目名	担当教員	講 義 等 の 内 容
慢性病看護学特講	池田 清子	慢性病や慢性性を病者の側から捉え、さらに慢性病による患者・家族の生活や発達課題への影響、ならびに慢性病への対処や反応を理解する上で有用な概念、諸理論やモデルについて学ぶ。これらの学びをとおして慢性病患者や家族の能力を十分に生かす看護援助の開発の基盤となる能力を育成する。

【後期開講科目】

授業科目名	担当教員	講 義 等 の 内 容
フィールドワーク論	樫田 美雄	フィールドワークを実習的に学ぶ。具体的には、インタビュー、参与観察、会話分析、ビデオエスノグラフィーをそれぞれに適切なフィールドを割りふりながら実践的に学んでもらう。
看護政策研究	林 千冬 *井上 冷子	〔オムニバス〕 〔林〕看護職者と看護サービスにかかわる政策決定過程について事例にもとづき理解を深める。加えて、政策決定過程における関係諸団体の関与と影響について、政策の上位概念としての政治・政治行動と看護職との関係にも触れつつ考察する。 〔井上〕地方公共団体レベルでの医療・看護行政・政策のしくみについて理解する。また、いくつかの事例をもとに、地方公共団体における政策決定過程に看護職者がいかに関与しているか・しえているかを今後の課題とも併せて検討する。
看護教育学	グレッグ 美鈴 *堀田 佐知子	看護教育学領域におけるトピックスを取り上げ、文献および個人の経験をもとに今後必要とされる研究課題を探究する。
周産期母子援助論	高田 昌代 藤井 ひろみ 嶋澤 恭子	マタニティサイクルにある女性とその家族の実際を把握した上で、その状況に関する理論を理解し、対象となる現象や人の特性を踏まえた援助を追求する。
ジェンダーと健康	高田 昌代 樫田 美雄 *蘭 由岐子 *長谷川 京子	ジェンダーについての基本的な知識（ジェンダー概念、ジェンダーの平等への歴史、現代社会におけるジェンダーに基づく諸問題）を充分理解し、ジェンダーの視点をういた研究の展開を探究する。受講者が各自のジェンダー意識に気づき、問題意識を持って文献をクリティークできる能力を養う。
エンド・オブ・ライフケア論	坪井 桂子 清水 昌美 *花房 由美子 *長谷川美智子 *藤田 愛	人生の最終段階を生きる高齢者に対する援助方法、権利擁護と意思決定支援、緩和ケア方法の実際を学び、生活を支える上で基盤となる高度な専門知識を修得する。
小児家族援助論Ⅰ	二宮 啓子	小児の健康と家族生活との関係に焦点を当て、小児をもつ家族に生じやすい問題を今日的な社会情勢と発達課題の観点から論じる。また、家族看護に関連する理論を用いて健康問題をもつ小児と家族のニーズを把握するための査定方法、並びに適切なケアを行うための援助方法を追求する。

\*は非常勤講師

平成29年度 神戸市看護大学大学院 科目等履修生

A 票

※欄は、記入不要

志 願 票

受 付 番 号	※院
---------	----

(フリガナ)					写 真  出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面、無背景のもの 縦4cm×横3cm		
志 願 者 氏 名							
生 年 月 日	昭和 平成	年	月	日			
住 所	(〒	—	)	☎ (	)	—	
		都 道 府 県					
勤 務 先	(〒	—	)	☎ (	)	—	
		都 道 府 県					
緊 急 先 連 絡	(〒	—	)	☎ (	)	—	
		都 道 府 県					
最 終 学 歴	大学 学校		学 科	昭和 平成	年	月	a. 卒業(修了) b. 卒業(修了)見込み
履 修 希 望 科 目	履修希望科目(前期)	担当教員	履修希望科目(後期)	担当教員			

(ここから切り離して提出してください)

※出願前に受講希望科目の担当教員に相談してください。  
(裏面に履歴書記入票があります。)



履 歴 書

氏 名	
-----	--

学 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
職 歴 及 経 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
免許・資格	年 月
	年 月
	年 月

B 票 選 考 結 果 送 付 先

↓ 選考結果を送付しますので、正確に記入してください。

〒	<div>□□□□-□□□□</div>
都 道 府 県	
様	

(ごみ袋などへは入れず、必ずこの用紙に記入してください。)

C 票 平成29年度 神戸市看護大学大学院科目等履修生

領 収 書

受付番号	※
氏 名	

選考結果は、全員に郵送でお知らせします。

領 収 書	領 収 印
<div>平成28年度歳入 一般会計</div> <p>¥ 9, 8 0 0 -</p> <p>ただし、平成29年度神戸市看護大学大学院科目等履修生選考料として上記の金額を領収しました。</p> <p>平成 年 月 日 神戸市看護大学 総務課 出納員 伊形 啓一</p>	

※欄は、記入しないでください。

D 票 原 符

受付番号	※
平成 28 年 度 歳 入	一 般 会 計
納 入 者	住 所
	(フリガナ) 氏 名

¥ 9, 8 0 0 -

ただし、平成29年度神戸市看護大学大学院科目等履修生選考料として上記の金額を領収しました。

平成 年 月 日  
神戸市看護大学 総務課  
出納員 伊形 啓一

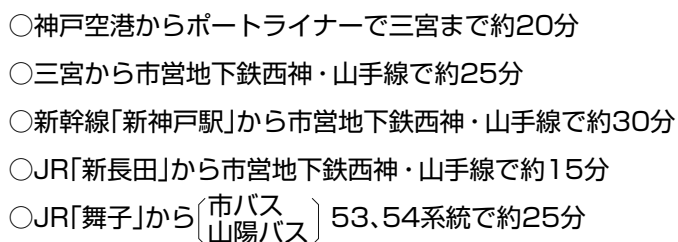
取扱者印	点 検 印

# 履修希望理由書

受付番号	※院
------	----

(ここから切り離して提出してください)

- (注) 1. 800 字程度にまとめてください。(横書き)  
2. ※欄は記入不要です。



神戸市看護大学

神戸市看護大学総務課

<http://www.kobe-ccn.ac.jp>

